



善正寺だより

掲示板法話

怒り、腹立ちの心は断ちがたいが柔らかな心で乗り越える念佛の道

あるお宅のお仏間に、南無阿弥陀仏のお名号と共に、法然聖人のお言葉が書かれたお軸がかかっています。中陰法要で、老若男女沢山お参りでしたので、正信念仏偈の後半、「本師源空明仏教」以下四行の「選択本願弘悪世」と法然様の事績を讃嘆された部分(意訳後述)を開いて、法然聖人のお導きを学ばせて頂きました。

法然聖人九歳の時、父・漆間時国が敵の夜襲に遭つて、殺されてしまいました。幼名・勢至丸と名乗る息子に対し父・時国は臨終の間際「敵討ちはするな。敵討ちをすれば、お前がまた敵討ちをされる。どうか、出家して、万人が救われていく道を究めておくれ」と遺言されました。夜襲に遭つた時、母親と共に藪に隠れて敵に弓矢を放つたという血氣盛んな武門の少年は、父親の遺言に驚き、悔し涙にくれたたことでしょう。

だが法然様は、怒りや腹立ちを抑え、父親の遺言に従つて出家し、数多の仏典を読破して善導大師のお聖教に学び、「唯念佛一つで誰しも救われる」という

「専修念佛」の教えを説かれました。吉水の法然聖人の下には、武家も貴族も、老若男女、耳四郎のような盜賊まで念佛門に馳せ参じたと言われます。

「(親鸞聖人が)本師源空聖人と敬われた法然さまは、善人も悪人もすべての凡夫をあわれみ、あらゆる人が救われていく道を見出された。それがこの島国・日本における浄土真宗の興隆、その教えと救いの開顕であった。聖人は『選択本願念佛集』を著して、凡夫救済のために阿弥陀仏が選び抜かれた念佛往生の願をこの濁り切つた悪世に弘められた」(正信偈の該当部分意訳)。

親鸞聖人も比叡山の自力修行を捨てて、法然聖人の門弟に加わった頃、念仏門の興隆を恨んだ聖道諸宗が度々念佛禁止の訴えを起こし、承元の法難により念佛禁止、法然聖人は土佐へ、親鸞聖人は越後に流罪、四名の死罪も出るなど、朝廷の弾圧は極まりました。だが、本願念佛の教えは滅びることなく、世界に伝えられています。

今日、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル、パレスチナの紛争を始め、地球

〒512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎059-331-1670
fax:059-332-0733



上では泥沼の争いが絶えません。また、国内でも親子が殺し合つたり、悲惨な争いは絶えません。
怒り、腹立ち、嫉み、妬みは人間の煩惱に根差し、とても根絶し難いものですが、念佛の道は、怒りや腹立ちを乗り越えて柔らかな心で生き抜くようお導き頂きます。生かされてある命を空しく過ぎることのないよう、往生浄土の人生を歩みたいと思います。
(意訳、藤枝宏壽『いのちの感動 正信偈 その深意を味わう』永田文昌堂、による)

☆行事ご案内☆

◇初参式・降誕会(こうたんえ)

4月20日(土)午後1時

講師: 加藤幸子先生 主催: 三全佛教婦人会
※初参式の赤ちゃん大募集! 参加費千円、締切3月末

4月の門信徒会例会

4月21日(日)午前8時半

新旧行事さん必ずお集まり下さい。新役員を決めます

一縁会テレホン法話 3分間でいつでも聞ける法話
TEL 059-354-1454 三重組5か寺住職らが
週替わりで担当、20冊目の新刊本『お念佛が
「愛してるよ」と聞こえる』(自照社)発売中、千円
夕方5時の鐘撞き誰でもOK、年中無休! ご褒美有
善正寺ホームページ・ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』
右のQRコードからご覧下さい。過去200号分の寺報
閲覧可、毎日更新人気ブログ累計43万人悩み相談有
新納骨堂: 後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を
法事場所でお困りの方: 本堂使用可、寺にご相談を
新法縁廟: 境内に共同墓建立! 骨壺納骨、記名板有



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記



私と同世代の女性に会つたら、片足を引きずつて歩いています。「どうしたの?」「急に膝が痛くなつて歩けない。整形に通い、やつとここまで回復した」と、深刻な悩みを訴えました。高齢になると、医者通いが増えるばかりです。あれほど健康に気を配つていた彼女が、何故こんな目に遭うのかしらと信じられませんでした。「寄る年波には勝てない」と言いますが、自覚せずとも老化現象は忍び寄ります。

かく言う私も「長年慣れている事だから大丈夫」と、高をくくつて注意を怠ると、思わぬ失敗を招き、恥ずかしい思いをしたことがあります。

若い頃ならば、二つのことを同時進行でこなせたことが、後期高齢者になると、どれも満足にできず大恥をかけます。年齢の所為と笑い飛ばしている間はいいのですが、これが冗談で済まされない場合もあります。足腰は勿論、頭の回転や記憶力もだんだん衰えていることは確かです。

高齢者の自動車事故が多発していると報道されますが、長年運転に慣れている人でさえ、アクセルとブレーキを踏み間違えて大事故に繋がります。高齢者ならば、一度は免許証の返上を思い浮かべますが、車に乗れない不便さ思うと決断力が揺らぎます。

坊守スケッチ

ぼうもり



ところでジャパンネットたかだの創業者高田明氏は、室町時代の能楽師世阿弥の言葉を座右の銘にしています。

「初心忘るべからず」時々の初心忘るべからず』『老後の初心忘るべからず』特に

三番目の「老後の初心忘るべからず」は、私達高齢者も肝に銘じたい格言です。

住職が目の手術をして以降、運転ができない状態です。たとえ視力が回復して免許証を頂けたとしても、半年間

の空白は運転の勘が鈍るのではない

かと心配しています。車の運転ができるないと、確かに家族にも大きな負担がかかり不便ですが、事故を起こすより

はマシです。『慢心は失敗の元』を心に刻んで、免許証更新ができたとしても、くれぐれも慎重な運転を願い、私も

「時々の初心忘るべからず」と、常に謙虚な姿勢で行動したいと思います。

初参式を受ける赤ちゃん大募集

4月20日(土)午後1時『初参式』

を受ける赤ちゃん・幼児大募集! 三全仏婦主催。千円、記念品、誕生記念に是非ご参加下さい。子供は皆の宝物!

カンパ有難うございます・感謝

海野公子様、その他匿名様
切手など沢山の御芳志に感謝です。

若坊守のことと日記 No.11

俳壇



先月号よりタイトルを「若坊守の育児毎日」から「若坊守のことと日記」に変更しました。子供達が大きくなり、少し手が離れるようになつて、周囲からも勧められたからです。

長男はこの3月に小学校を卒業し、

4月から中学生になるのですから月日の経つのは早いものです。

「ことこと日記」とは何かと申しますと、「言葉」と「事柄」を兼ねて、「こと」と手仕事をしているような響きが可愛いかなと、長女と相談して決めました。こんな相談にも乗つてくれるくらい、長女も成長しました。

いま、長男は学校で卒業式の練習をしているようで、美しいメロディーの歌を時々自宅でも練習しています。

小学校の卒業式は私自身にとっても一番印象的でした。式で歌った曲や、全員が「ピカピカの体育館での入学式」と大声で言ったことを覚えていて、小学校の六年間はとても濃密で、今も色褪せずに思い出に残っています。

長男の小学校は保護者席をくじ引きで決めます。子ども達が先日くじ引きをしました。現代つ子らしい方法で、公平に決めるので微笑ましく思います。大切な節目となる卒業式が晴れやかな一日になるよう願っています。

☆総代・世話方、任期満了につき、世話方様候補者の選挙実施されます。

3月中に、投票用紙を配布し、4月例会(4月21日)にて開票、選出。

行事さんが配布・回収されますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」364号をお届けします。△「天上天下唯我独尊」唯念佛。

進学や時刻みてや十二歳

釋妙水

老いてなお動く指先毛糸編む

釋妙水

ふるびいなモデルに描く便りかな

釋妙水

自転車の将棋倒しや春疾風

釋妙水

水尾引いて光に遊ぶ春の鴨

釋妙水

流れゆく色鮮やかな柿落葉

釋妙水

ライラック香りやさしく色ほのか

釋妙水

蒲団干す夫婦揃いの赤と青

釋妙水

年古りて苦味美味しや落の薹 YM

釋妙水

青丹よし奈良公園の青き踏む

釋妙水

床やココアに皮膜のやうなもの

釋妙水

潜つては又潜るヒナ水温む TS

釋妙水

春風に撫でられ地蔵の恵比須顔

釋妙水

黒板の赤おに淡し節分よ 釋秀龍

釋秀龍

春の暮つくえの奥の自由帳

釋妙水

「ダイナミック琉球」を聴いて

釋妙水

春波の声よはじけるかけ声よ

釋妙水

早咲きの花震えけり戻り雪 釋清風

釋清風

春炬燵にわか書斎となりにけり

釋

山笑う小鳥陽気に戯れり

釋

東坂山に捨てられた黒白猫とは10年以上の付き合いです。多くの散歩客からアイドル猫として可愛がられています。朝5時半、休憩所にいる猫に挨拶するのが私の日課でした。ところが二月に二十日間程行方不明になりました。その頃二週続けて休憩所が何者かに荒らされました。猫が避難した時に襲撃されたのかと心配しました。「自分の年金を猫の子代に使いた」と言う男性は牢をくまなく探し回りました。ところが先日その猫が私の前に突然現れました。小踊りするばかりに悦び猫好き仲間に知らせました。エサやり男性の足元に手を寄ってエサをおねだりする姿は我が子同然です。この光景を見て日本の現状とは正反対だと思いました。日本では單親世帯が増え続け、全体の四割を超えてます。生涯未婚率や少子高齢化も進展して、家族の構成が大きく変化しています。引き取り手のない死者や遺骨が増え続けています。家族や親類がいるに拘わらず、葬儀を出す兄弟がなく、無縁死者となそ行政の手で区分されます。それは都會ばかりではなく地方にも浸透し始めました。かくて葬儀によそ地縁血縁を確認して、子や孫に「仙法を伝え、後継者を育てる絶好の機会でしたが、今は業者任せや直葬(火葬だけ)でも平気という人が現われました。多くの人に愛され人のご縁をつないでくれる捨て猫の方が幸せだという矛盾した時代になりました。今一度私達の生き方を反省し人間らしさを取り戻しましょう。永代絆のご法説、絶好の機会です。どうかお誂い合せてお参り下さい。合掌

令和大年四月

善正寺坊守持